東久留米市特別支援教室設置計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果

１　募集期間　　　平成２７年９月９日（水曜日）～９月３０日（水曜日）

２　ご意見数　　　６人　７件

３　ご意見の内訳　　※長文のご意見は、趣旨を損なわないよう要約しています。

|  |  |
| --- | --- |
| ご意見の概要 | ご意見に対する教育委員会の考え方 |
| 特別支援教室に通うための判断基準をしっかり作ってほしい。また、判定会議の回数を増やし支援が進むようにしてほしい。（2名） | 特別支援教室開設準備委員会を設置し検討していきます。 |
| 支援の必要な子ども一人一人が、その特性に応じた支援や指導を受けられる特別支援教室となるよう、定期的に実態を把握し、見直や改善を行ってほしい。 | 各学校と連携して実践と評価を行いながら、特別支援教室の充実を図っていきます。 |
| 障がい児は環境の変化になかなか対応しにくい。子ども達にとって本当に良いことなのか、常に当事者の意見を大切に考えて進めていってほしい。 | 保護者、学校、教育委員会と連携して進めていきます。 |
| 通常学級と特別支援教室の先生方の交流を増やすためにも、一校に一人常勤の先生を置いてほしい。 | 東京都は、特別支援教室で指導をする巡回指導教員は拠点校の教員として巡回校に出かけるとしているため、現段階では常勤は難しいと考えます。しかし、児童理解や指導の充実のためには、教員同士の連携は不可欠です。特別支援教室設置校すべてに配置される特別支援教室専門員（非常勤職員）も含め、教員同士の連携を推進していきます。 |
| 特別支援教室を開設する際には、通常学級の子ども達にも適切な説明をしてほしい。 | 各学校と連携して検討をしていきます。 |
| 教育委員会が必要と判断した場合、月1～2回程度、拠点校での指導ができる。また、当面はバスを運行するとあるが、現在、通級指導学級へ通っている子ども達は教育委員会の判断ではなく、親及び本人の希望により通わせてほしい。また、バスがなくなることで通えなくなる子どもが出ないようにバス送迎を続けてほしい。 | 児童一人一人の実態に応じた指導を充実させるためには、保護者や本人の思いに寄り添いながらも、どのような支援が適切であるのかを学校及び教育委員会が把握し、判断することは大変重要なことと考えます。また、バスの運行については、状況を見ながら当面の運行を実施していきます。 |